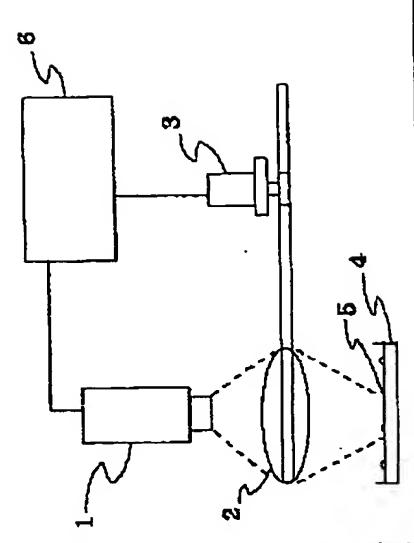




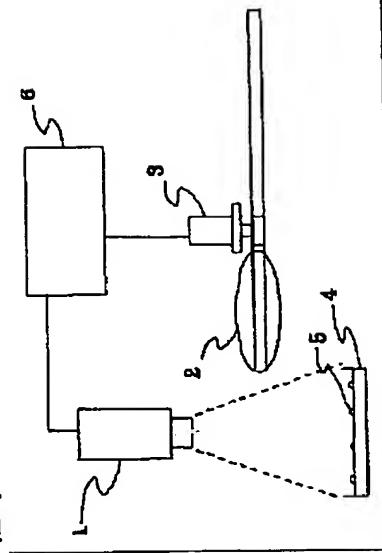
価にならぬのは避けられないし、計測時間もかかる場合も多い。本発明のコロニー枚計算装置は、比較的低分解能のCCDカメラを用い、始めは、シャーレの一部分のみを計測し、その部分のコロニー数が、一定以上であれば、計測した数をシャーレの面積倍し、シャーレ全体のコロニー数を求める。一定以下であれば、シャーレの一部分を拡大してレンズを移動させ、シャーレ全体の計測し、コロニー数を求めるようにすることにより、簡便で高速び、低価格のコロニー枚計算装置を実現するものである。

[0003]

[図1]



[図1]



4

[0004]

[実施例] 第1図において、1のCCDカメラは4のシャーレ全体を計測できる位置に配置されているが、2のレンズによって、4のシャーレの一部分を拡大して計測できるようになっている。1のCCDカメラは、4のシャーレ内に生成する5のコロニー数について、2のレンズを通して1の部分の数を計測し、6の中央計算装置にて、その数を演算する。演算後、5のコロニー数が一定の値より、多い場合は、拡大された部分のコロニー数を4のシャーレの全体の面積倍を行う演算を行い、全体のコロニー数を求める。逆に5のコロニー数が一定の値より、少ない場合は、6の中央計算装置は、3の駆動装置を動作させ、第2回のように2のレンズを移動させる。これにより、1のCCDカメラは4のシャーレ全体を計測することとなり、6の中央計算装置にて、5のコロニー数を演算し求める。このようすに、4のシャーレ内に生成する、5のコロニー数が多い場合は、4のシャーレ内的一部分の計測を行い、面積倍することによって、全体のコロニー数を求める。5のコロニー数が少ない場合は、4のシャーレ全体を計測し、全体のコロニー数を求める。これにより、高精度で構成できるため、食品衛生上の検査や生化学検査の省力化が進み、検査コストや生産コストの低減に多大な効果がある。

[0005]

[発明の効果] 本発明の装置では、肉眼に頼らず計測でき、しかも簡便で高速及び、低価格で構成できるため、食品衛生上の検査や生化学検査の省力化が進み、検査コストや生産コストの低減に多大な効果がある。

[0006]

[図面の簡単な説明]

[図1] 本発明の構成の1例を説明するための図である。

[図2] 本発明の動作の1例を説明するための図である。

[0007]

[符号の説明]